

地域密着型金融の取組みについて

<平成19年4月～平成20年3月>

豊橋信用金庫

地域密着型金融の取組みについて

I. 地域密着型金融の取組方針

当金庫は、信用金庫の原点である地域密着型金融を推進して理解者を増やしていくとともに、地域社会の期待に応え、より一層存在感を高めていくことを基本的な取組み姿勢としています。そのために、事業性融資に重点を置いた活動を引続き行い、取引基盤の拡充による地域内のシェアアップを図る「経営基盤の拡充」、リスク管理態勢の充実を図り、安定した利益確保による「経営体質の強化」、環境変化に対応するために職員の能力を高め、働きやすい職場を醸成するための「人材の育成と職場の活性化」の3つを重点施策として推進しています。

平成15年度～16年度の2年間実施した「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」および平成17年度～18年度に実施した「地域密着型金融の機能強化に関するアクションプログラム」の2次にわたるアクションプログラムのもと、地域密着型金融の推進に取組み、推進計画に沿って確実に取組み、着実に推進できたものと考えています。

これらの「地域密着型金融推進計画」の考え方を、恒久的な取組みとして推進していくために、平成19年度においても、下記の3項目を中心に、「地域密着型金融の取組み」として具体的に、お取引先の支援や地域活性化のお手伝いを進めてきました。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

II. 地域密着型金融の具体的な取組み実績

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

項 目	具 体 的 取 組	取 組 実 績
創業・新事業支援	<p>○地域産業界の産学官連携のニーズを踏まえ、産学官連携を推進することにより地域経済の活性化に貢献することを目的として、豊橋技術科学大学や㈱サイエンスクリエイト等との連携を一層強化し、地域活性化の取組みを推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業・新事業支援のための融資取組み。 ・豊橋技術科学大学への技術相談等の取次。 ・中小企業基盤整備機構の新連携の認定支援。 ・豊橋技術科学大学に農業関連寄付講座を開設。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援融資実績 30件 721百万円 ・技術相談仲介 10件 ・認定支援先 2先 ・しんきん食農技術科学講座開設
経営改善支援	<p>○経営改善対象先を選定し、「改善ステップ表」を用いた、業況ヒアリング等の実施による経営改善と債務者区分のランクアップへの取組み。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・改善支援取組先 180先 うちランクアップ先 45先
事業再生	<p>○しんきんビジネスフェアへの参加を促進するなどの、地域の中小企業のビジネスマッチングへの取組み。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマッチング成約 8件
事業承継	<p>○信金キャピタル㈱等との連携の強化による、M&A業務を推進。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・M&A 1件

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

項 目	具 体 的 取 組	取 組 実 績
担保・保証に過度に依存しない融資への取組み	<p>○地域での情報を活かし、担保・保証に過度に依存しない融資手法への取組み。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹産業である農業分野での流動資産担保融資（ABL）の取組み。 ・財務制限条項等を活用したシンジケートローンの取組み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ABL <ul style="list-style-type: none"> 胡蝶蘭担保 1件 15百万円 ブランド豚担保 1件 10百万円 ・シンジケートローン 8件 980百万円

<p>企業の将来性、技術力を適格に評価できる能力等、人材育成への取組み</p>	<p>○企業の将来性・成長力等を見抜く洞察力の向上と、中小企業の業種ごとの技術力、開発力、販売力等を評価できる専門知識・能力を備えた人材の育成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業大学校の中小企業診断士養成講座への職員派遣。 ・ 豊橋創造大学校大学院修士課程への職員派遣。 ・ 外部派遣講座への職員派遣。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業診断士養成講座へ1名派遣 ・ 豊橋創造大学大学院修士課程へ1名派遣 ・ 外部派遣講座へ7名派遣
---	---	---

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

項 目	具 体 的 取 組	取 組 実 績
<p>地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み</p>	<p>○地域の活性化を計画的に実施する「まちづくり」の視点を踏まえた、地域におけるPFI事業への取組み。</p> <p>○当地域経済問題や産業についての研究支援や、豊橋市中心市街地発展活動支援のため職員を派遣。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊橋市資源化センター余熱利用施設整備・運営事業に対する 融資取組み 1先 153 百万円 ・ 「社団法人東三河地域研究センターおよび株式会社まちなか活性化センター」に職員を各1名派遣。
<p>地域活性化につながる多様なサービスの提供</p>	<p>○地域への文化貢献活動の一環として、国内の一流演奏家の演奏を地域に提供することを目的にコンサートを開催。</p> <p>○地元企業の業況、収益状況や、景気動向等をアンケート調査し公表。</p> <p>○利用者満足度調査を実施し、金庫経営の改善および地域へのサービス向上に努めた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成19年11月19日 アイプラザ豊橋で「ふれあいコンサート」を開催。 ・ 年4回アンケート調査を実施し結果を公表。 ・ 結果をインターネットのホームページに公表。

平成19年度経営改善支援実績

単位:先数

		期初債務者数 A	うち 経営改善支援 取組先数 α	αのうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数 β	αのうち期末 に債務者区分 が変化しな かった先数 γ	αのうち再生 計画を策定し た先数 δ	経営改善支 援取組み率 (%) α/A	ランクアップ 率 (%) β/α	再生計画 策定率 (%) δ/α
正常先	①	5,757	0		0	0	0.0%		-
要 注 意 先	その他 要注意先	1,448	156	45	110	39	10.8%	28.8%	25.0%
	要管理先	14	2	0	1	2	14.3%	0.0%	100.0%
破綻懸念先	④	275	22	0	20	12	8.0%	0.0%	54.5%
実質破綻先	⑤	130	0	0	0	0	0.0%	-	-
破綻先	⑥	20	0	0	0	0	0.0%	-	-
	小計 (②~⑥の計)	1,887	180	45	131	53	9.5%	25.0%	29.4%
	合計	7,644	180	45	131	53	2.4%	25.0%	29.4%

(注)

- ・債務者、経営改善支援取組先は、取引先企業（個人事業主を含む）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先は含みません。
- ・ β には当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。なお、経営改善支援取組先で期中に完済した債務者は α に含めるものの β には含めておりません。
- ・期初の債務者区分が「要管理先」であった先が期末に債務者区分が「その他要注意先」にランクアップした場合は β に含めています。
- ・期初に存在した債務者で期中新たに「経営改善支援取組先」に選定した債務者については（仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても）期初の債務者区分に従って整理しています。
- ・期中新たに取引を開始した取引先については、本表に含んでいません。
- ・ γ には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。
- ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上しています。